

学級活動(2)指導

日時 平成29年11月10日(金)
児童 男子7名 女子4名 計11名
授業者

1 題材

「命～育ちゆく体とぼくたち私たち～」—自分のいいところをさがそう—
(2)ーカ 心身ともに健康で安全な生活態度の育成

2 設定の理由

- ①「小学校学習指導要領第6章特別活動 第2学級活動 2内容[共通事項] (2)カ 心身ともに健康で安全な生活態度の育成」に基づくものである。
- ② 友だちや自分のよさに気づくことにより自己肯定感をはぐくんだり、望ましいコミュニケーションをとろうとしたりする。
- ③自分のよさを意欲的に見つけようとする気持ちを育てる。

3 児童の実態

- ① 今回の授業は、思春期を迎える高学年を中心に、知的学級6名、情緒学級5名、計11名の児童で構成されている。
- ② ほとんどの児童が、学級の友達の良いところを見つけることができている。
- ③ 自分の良いところは、見つけられ児童もいる。

4 特別活動における「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の視点

今回は「自己実現」に重点をおいて指導する。

5 活動計画と評価規準

日時	主な活動内容	目指す児童の姿と評価方法
<事前> 10月30日(月) 1時間目	・ 今までの活動や学習を振り返り、友達の良さをさがそうとしている。	【関心・意欲・態度】 ・ 今までの活動や学習を振り返り、自分や友だちのよさをさがそうとしている。 (発言・態度・学習シート)
11月6日(月) かがやき	・ 見つけた友だちのよさを発表し、全体で共有する。	
本時 11月10日(木) 5校時	・ 題材 「命～育ちゆく体とぼくたち私たち～」 —自分のいいところをさがそう—	【知識・理解】 ・ 友だちや自分のさまざまなよさに気づくことができる。 (発言・態度・学習シート) 【思考・判断・実践】 ・ 視点を変えることにより、友だちや自分のよさをたくさん探すことができる。(発言・態度・学習シート)
11月17日(金) 1校時	・ 自分の取り組みについて振り返る。	【思考・判断・実践】 ・ 友だちや自分のよさをたくさん発揮している。(発言・態度・学習シート)

6 本時の指導

(1) 本時のねらい

日常生活を振り返り、自分のよさを探したり、再認識したりしたうえで、それらを生かして日常生活をおくろうとすることができる。

(2) 本時の展開

段階	児童の活動	指導上の留意点・支援（◇評価）	
		T 1	T 2
つかむ	1 前時を思い出す。 ・〇〇さんは、誰とも仲良くなれる。 ・〇〇さんは、おもしろい。etc	・友だちのよさをまとめた掲示物を提示する。	・参加が不安定な児童については、T 3 が担当し、学習状況を把握する。
	2 課題をとらえる。 自分のよさについて知り、生活に生かそう。		
さぐる	3 普段の生活の中で、「自分のいいところ」を考える。 ・今の学習を頑張っている。 ・強くなること。 ・字がうまい ・やさしい ・いつも元気 ・絵が上手 ・足が速い	・適宜近くの友だちや支援員の先生と相談させ、友だちから見た自分の良さに付いて考えさせたい。 ・家庭での様子を支障がなければ発言させたい。 ◇【知識・理解】 ・自分の良さを探することができる。 (発言・態度・学習シート)	・保護者からのアンケート資料を提示し、自分の気づかない「自分の良さ」をとらえさせる。
	4 普段の生活の中で、自分のよさをいつも出せているかどうか振り返る。 ・嫌なことがあると友達とケンカするときもある。 ・時間がないと雑に仕事をする。 ・やる気が起きない時もある。		
見付ける	5 自分のよさを普段の生活の中で、多く発揮するための方法を考える。 (1) 一人で課題解決を図る。 ・どのよさをより発揮したいか ・いつ発揮したいか ・そのために何をするか (2) 全体に広げる。 ・ぼくのよさはおもしろいなので・・・ ・わたしは、「やさしい」よさがあるので・・・	・一人で考える時間はあまり長くせず、交流の中で考えをもてるようにしていきたい。 ・机間巡視しながら、解決方法の支援をする。 ・課題が似ている児童がいたら、解決方法を相談させる。 ◇【思考・判断・実践】 自分のよさを多く発揮できる方法を考えている。(発言・態度・学習シート)	・机間巡視をしながら、一人一人の課題に即した解決方法を一緒に考えたり、支援したりする。
	6 自分に合った実践方法を決める。 ・ぼくは「おもしろい」よさがある。休み時間やレクの時などに、自分から友達に声をかけたり楽しいことをしたりする。 ・わたしは、「やさしい」よさがある。勉強時間や休み時間に困っている人がいたら、自分から声をかける。〇〇さんの方法を聞いて・・・してみようと思いました。		
決める	7 ふりかえる。	・友だちの方法を聞き改善策を変更するか確かめ、実践方法を決める。 ・取り組み期間などの確認をする。	・迷っている児童に支援する。